



# 東 侯 野 2月

東侯野小学校 学校だより

平成28年2月1日

いよいよ立春 春の始まりです

副校長 油屋 邦江

もうすぐ立春を迎えますが、厳しい寒さに震える今日この頃です。学校の小さな池にも一センチほどの厚みの氷が張り、子どもたちはのぞいたりつついたり、中には「金魚がいるはずなんだけどなあ。」と、冷たい水の中でもじっと耐えているであろう生物に興味津々な様子の子もいます。3日は節分、この日を寒さのピークとして、4日の立春は、春の始まりということなのです。

さて、一月は様々な行事やいろいろな方面からの来校者がありました。少しご紹介します。

1月16日(土)に東侯野小伝統の「凧づくり・凧あげ大会」が行われました。今年も指導には東侯野凧の会、地域や保護者の協力者の皆様、そして保護者の方々など多くの皆さんにご支援いただきました。子どもたちのふり返りの中には、「凧名人さんに難しいところを分かりやすく教えていただいた。」「おうちの人と一緒に凧をつくってうれしかった。」「自分の力で一生懸命がんばってつくった。」など、それぞれの思いを表していました。伝統を受け継ぐためには、皆様のご支援が必要です。「一日子どもたちと一緒に楽しみながらみんなで凧をつくろうよ」という保護者の方々の思いがさらに高まればうれしいです。



安全サポートの会情報交換会

1月21日には、東侯野小子ども安全サポートの会とPTA校外委員会との情報交換会が開かれました。楠会長を始め安全サポートの委員の方々には、危険箇所立ち子どもたちの安全を見守っていただいています。子どもたちの顔も把握され、あの子は今日はちょっと遅いな、あいさつが返ってこないけど、などと心配されたりすることもあるようです。交通安全・防犯だけでなく子どもたちの心の安心にも寄り添っていただけていることを知り、本当に有り難く思いました。子どもたちのあいさつについても話題に上りましたが、あいさつは先にするのが勝ちと親に言われて育ったという委員さんの話や、家庭や地域で親があいさつする姿を見せるとよいですよという委員さんのアドバイスもありました。地域の大先輩のお話をPTAの皆さんと共に私も聞きながら聞き入りました。

先週は、田雑戸塚区長の学校訪問がありました。区長をはじめ、学校連携・こども担当課長、こども家庭支援課担当係長、学校支援連携担当の4名の方々が来校されました。校長から本校の学校概要の説明を行い、皆様に授業や校内の様子を見ていただきました。子どもたちは区長さんに会えることを楽しみにしており、少し緊張しながらも顔をしっかりと見て、来ていただいたことを喜んでいる様子でした。懇談の中で「子どもたちは楽しそうに学習に取り組んでいますね。」という感想をいただきました。学校と役所の距離を縮め、顔の見える関係をつくるということが訪問の目的でしたが、互いに身近な存在になったのではないのでしょうか。百聞は一見にしかず、外から見るとよりも、中に足を踏み込んでみることで、その様子を五感で感じ取ることができます。区長学校訪問は短い時間ではありましたが、本校の温かさを感じていただけたようです。



戸塚区長学校訪問

今年度も残すところあと2か月となりました。子どもたちは、一つ上の学年を目指しまとめを行います。保護者の方を招いての節目の発表を行う学年もあります。ぜひご協力をお願いします。